

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

資料3

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) デジタル社会を担う人材の育成	(仮称)IoTシステム科の新設	IoT等について学ぶ「(仮称)IoTシステム科」を船橋高等技術専門校に設置する(その後、我孫子高等技術専門校に移転(施設整備後))。	—	—	他県及び県内ポリテクの訓練実施状況を参考にしつつ、船橋校現有の人的・物理的リソースを活用して、令和7年4月に速やかに開講できることを目的として、普通課程(2年制)・定員10名(1学年あたり)とした。	令和7年4月の開講に向けて、カリキュラムの策定及び関連規則の改正、電気工事等の施設改修、備品の予算要求など準備を進める。
	高等技術専門校の全訓練科でITリテラシーに係る訓練	令和5年度から、高等技術専門校の全ての訓練科において、データの取扱い方などを習得するITリテラシーに係る訓練を実施する。	574,747 の一部	519,318 の一部	令和4年7月に、全ての指導員を対象に、研修(職業能力開発大学校研修「DX時代のIT基礎と考え方」)を実施した。	訓練科において、データの取扱い方などを習得するITリテラシーに係る訓練を実施し、訓練科ごとの課題を洗い出す。
	離職者等再就職訓練におけるデジタル人材育成コースの拡充	離職者等再就職訓練の中で、令和3年度に新設した「デジタル人材育成コース」について、今後も更に拡充を図る。	848,980	766,095	令和3年度開講実績はコース数4コース、入校者88名であった。 令和4年度計画においては15コース360名と拡充を図り、令和4年度の実績は16コース262名と、令和3年度に比べ、大幅に増加した。	令和4年度計画がコース数15コース定員360名であったのに対し、令和5年度計画においてはコース数20コース定員480名と引き続き拡充を図る。
(2) 介護・保育・建設・運輸等の人手不足分野の人材確保	離職者等再就職訓練事業(介護・保育・建設人材等の確保・育成)	介護・保育分野については、健康福祉部の事業(次項目に記載)を補完する形で、離職者等向けの再就職訓練コースを拡充するとともに、建設分野における訓練コースの充実も図る。 また、高等技術専門校(東金校)において建築大工を養成する訓練を実施する。	848,980	766,095	介護等福祉分野について、介護福祉士、保育士等の資格取得コースの実施に加え、介護職員初任者研修等を実施するとともに、介護分野の人材不足に対応するため、都市部以外の地域における介護職員初任者の小規模コース(県単上乘せ)を実施した。 ・R4訓練実績(繰越含む) 合計229コース(3,127人) うちR4開講分 介護福祉士31人・保育士75人  また、建設人材育成コースを4コース実施した。	介護・保育分野に関しては今後も重点的かつ計画的な実施に努める。さらに介護職員初任者小規模コース(県単上乘せ)を実施する。 ・介護福祉士18人・保育士76人 ・介護職員初任者小規模コース:10コース  建設人材コースの実施に努める。 ・4コース
	高等技術専門校における職業訓練		574,747 の一部	519,318 の一部	東金校の建築科において職業訓練を実施した。 (建築科定員30名・入校率50.0%・就職率92.9%)	引き続き、東金校において建築科での職業訓練を行い、建築人材の輩出に努める。

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	介護人材確保対策事業	人手不足が深刻な介護人材・保育人材・医療人材の人材確保に向けた取組を行う。	360,516	324,520	(介護人材確保対策事業) ・介護人材確保対策事業費補助金 70,664千円 ・千葉県留学生受入プログラム 65,299千円 ・千葉県外国人介護人材支援センター運営事業 29,630千円 ・介護の未来案内人事業 5,953千円 ・介護に関する入門的研修事業 5,241千円  【以下福祉人材センターに委託】 ・介護人材マッチング機能強化事業 13,500千円 ・職場体験 698千円 ・メンタルヘルスサポート事業 3,781千円	介護人材確保対策事業については、介護人材の確保・定着を図るため、引き続き、介護分野への新規就業や職員のキャリアアップ等に向けた取組、介護職の魅力発信などの取組を実施する。また、外国人介護人材の就業促進を図るため、引き続き、介護職への就業を目指す留学生や介護職種の技能実習生等に対する支援を行う。
	ちば保育士・保育所運営等事業		21,434	21,434	(ちば保育士・保育所支援センター運営等事業) ・平成25年8月に開設した「ちば保育士・保育所支援センター」において、再就職支援コーディネーターを配置し、求人・求職情報の提供や、保育士や放課後児童支援員等からの相談支援を実施した。 (相談件数2,375件、就職件数151件) ・就職支援のため、就職フェスタを2回、就職フェアを5回、また、25か所の保育士養成施設等への訪問を実施した。	引き続き、再就職支援コーディネーターによる求人・求職情報の提供、保育士や放課後児童支援員等の相談・就職支援や、就職説明会、就職支援講座等の開催を行う。
	県立保健医療大学・県立看護専門学校での人材育成		757,855	668,130	大学1校・専門学校2校を設置・運営し、看護師等を養成した。 ・保健医療大学(看護学科) 県内就職者数 61人(卒業生83人) 看護師等国家試験合格率 98.8% ・鶴舞看護専門学校 県内就職者数 31人(卒業生32人) 看護師国家試験合格率 96.9% ・野田看護専門学校 県内就職者数 58人(卒業生69人) 看護師国家試験合格率 100.0%	継続して事業を実施

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ナースセンター事業		42,992	42,809	県委託事業として、千葉県ナースセンターにおいて、看護師等の就業の促進、その他看護師等の確保を図るための事業を行った。 ・アドバイザーによる施設訪問 2か所 ・出張相談等による個別相談の実施 相談者数 117人、再就業者数 46人 ・再就業を促進するための講習会・研修会の実施 参加人数 181人、再就業者数 58人	継続して事業を実施
	農業大学校における担い手の育成	農林水産分野における優れた担い手の育成に向け、実践的な訓練や研修を行う。また、資格取得などのスキルアップを通じて定着の促進を図る。	183,839	169,281	農業大学校において、優れた農業の担い手及び指導者の育成を実施した。 (農学科:定員80名・入学生44名、研究科:定員20名・入学生17名、農業研修科(農業者養成研修):定員40名・受講者21名)	農業大学校において、優れた農業の担い手及び指導者の育成を実施する。 (R5農学科:定員80名・入学生53名、R5研究科:定員20名・入学生13名、R5農業研修科(農業者養成研修):定員40名・受講者24名)
	森林・林業担い手確保・育成対策事業		47,365	37,674	・林業サービスセンターの管理・運営 (研修8回、受講者計163名) ・林業労働力確保支援センター事業 (林業就業者技能研修2回(受講者32名)) ・林業労働安全衛生対策事業 (振動障害予防健診9名、巡回指導41回他) ・高性能林業機械等レンタル支援事業 (支援台数26台) ・高性能林業機械オペレーター養成事業 (養成者4名) ・危険木処理技術者育成事業 (受講者3研修各種3~6名)	同左取組の継続実施
	漁業の担い手確保・育成総合対策事業		4,539	2,558	・漁業就業相談会を開催した。 (相談者49人) ・水産業インターンシップを実施した。 (受講者9人) ・短期漁業技術研修を実施した。 (受講者4人) ・中期漁業技術研修を実施した。 (受講者2人)	地域の漁業協同組合や市町村と連携し、都市部も含めて就業希望者を掘り起こし、地域や操業形態に応じた就業モデルづくりに取り組む。
	物流関係科の設置の検討	圏央道の全線開通や成田空港の拡張等による物流需要の高まりを受け、物流センター等で必要とされる知識・技能を短期間で習得する「物流関係科」の設置について検討する。	—	—	—	R5年度において、「物流関係科」の開設検討に当たって、物流センター等の実態や人材ニーズ、民間における訓練実施状況等を把握する必要があることから、専門的な調査能力を持つ企業に調査を委託することとした。

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(3) 在職者訓練等の充実	ちば企業人スキルアップセミナー	ITスキルをはじめとした中小企業等で必要とされるスキルの向上や学び直しの機会の提供に向け、スキルアップセミナーの定員の拡充を図る。	5,468	4,589	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請システムによる受講申込を開始した。</li> <li>県立高等技術専門校5校(障害者校を除く)で主にもものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー型 31コース (訓練メニューを設定して募集)</li> <li>オーダー型 3コース (企業の要望に応じて訓練メニューを設定)</li> </ul> </li> <li>受講者数 196名</li> </ul>	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	認定職業訓練助成事業	認定職業訓練に対する運営費等の助成を実施する。	29,079	27,974	認定職業訓練校9校の訓練(長期61人、短期414人)に対し、運営費等の補助を行った。	認定職業訓練校に対し、運営費等の補助を行う。また、申請に応じ、認定職業訓練校の新規認定を行う。
(4) 中小企業における人材育成への支援	中小企業等技術力高度化支援研修事業	県内中小企業等を対象に、技術力高度化やデジタル人材育成のための研修のほか、千葉県商工会議所連合会と連携して、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援等を行う。	938	511	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属3Dプリンタの活用方法に関する座学と実習</li> <li>CNC三次元測定機の活用方法に関する座学と実習</li> <li>卓上型走査電子顕微鏡の基本操作に関する座学と実習</li> <li>蛍光X線分析装置を用いた分析手法に関する座学と実習</li> </ul> <p>上記の4研修を実施し延べ86名の技術者のレベルアップを支援した。</p>	産業支援技術研究所において、中小企業等の技術力高度化のために必要となる技術・技能について、座学による理論から実際に機器を使用するのノウハウ習得などに関する研修を行う。
	中小企業デジタル技術活用支援事業		24,000	23,496	デジタル技術の活用により、中小企業が生産性の向上や事業の高付加価値化を図れるよう、セミナーや体験型IoT・AI実習講座の開催、実務者向けのデジタル技術活用実践研修を実施した。	引き続き、セミナー、体験型講座、実践研修を実施する。
	中小企業人材採用・魅力発信サポート事業		20,000	20,000	<p>企業の人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総参加企業550社、総参加教育機関87校、総参加学生1,966人</li> <li>企業対象セミナー参加企業 延べ230社</li> <li>企業と教育機関の交流イベントの参加 企業延べ200社、教育機関延べ79校</li> </ul>	引き続き、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行う。

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば企業人スキルアップセミナー【再掲】	スキルアップセミナーでは、中小企業の希望に応じて訓練内容や実施日程を設定するオーダー型訓練も実施している。この訓練の更なる周知を図るとともに、相談にきめ細かく対応し、中小企業における人材育成を支援する。	5,468	4,589	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請システムによる受講申込を開始した。</li> <li>・県立高等技術専門学校5校(障害者校を除く)で主なものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。</li> <li>メニュー型 31コース (訓練メニューを設定して募集)</li> <li>オーダー型 3コース (企業の要望に応じて訓練メニューを設定)</li> <li>・受講者数 196名</li> </ul>	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	認定職業訓練助成事業【再掲】	認定職業訓練に対する運営費等の助成を実施する。	29,079	27,974	認定職業訓練校9校の訓練(長期61人、短期414人)に対し、運営費等の補助を行った。	認定職業訓練校に対し、運営費等の補助を行う。また、申請に応じ、認定職業訓練校の新規認定を行う。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) 女性のための職業能力開発と就労支援	離職者等再就職訓練事業における託児付きコース及びeラーニングコースの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>離職者等再就職訓練事業において、女性の就労促進に繋がりのやすい分野(パソコン、経理、医療事務、介護、保育等)の職業訓練を幅広く実施し、スキルアップや資格取得等による就職支援を行う。</li> <li>特に、育児で離職中の女性も参加できるように、託児付きコースや、育児や介護で外出が難しい女性も在宅で好きな時に受講できるeラーニングコース(令和3年度新設)について、今後も拡充に努める。</li> </ul>	848,980	766,095	<p>女性の就労に繋がりのやすいパソコン、経理、医療事務等の分野を含め、幅広く訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R4訓練実績(繰越含む) 合計229コース、受講者3,127人 R4就職率 72.8%</li> </ul> <p>従来の託児付き訓練コースに加え、1人以上の託児付きサービスを付した企画提案を推進し、託児付き訓練コースの拡充に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>16コース(託児利用児童数14人)</li> </ul> <p>母子家庭の母親に対する訓練手当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支給実績なし</li> </ul> <p>eラーニングコースを1コース実施した。</p>	<p>今後も女性が活躍する分野や、女性に多く活用されている訓練コースについて、設定促進を図る。</p> <p>子育て女性の受講促進を図るため、託児付き訓練の拡充に努める。</p> <p>また、従来の託児付き訓練コース(託児定員10人以上かつ6か月以上の乳児枠あり)に加え、1人以上の託児付きサービスを付した企画提案を引き続き推進する。</p> <p>母子家庭の母親に対する訓練手当について、労働局と連携し、HWIに制度の周知を行い、対象者の有効的な利用を図る。</p> <p>eラーニングコースの実施に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3コース</li> </ul>
	高等技術専門校での施設内訓練(女性の入校促進)	高等技術専門校において、女性向けの広報活動を充実させるなど入校促進に向けた取組を進め、女性技能者の育成を強化する。	574,747 の一部	519,318 の一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 入校案内等で女性が活躍する様子を多く掲載。</li> <li>b トイレの洋式化を実施</li> <li>c 高等技術専門校のHPリニューアルの検討(機能強化に向けた広報事業)</li> <li>d 教育委員会との連携による情報発信の検討(機能強化に向けた広報事業)</li> <li>e 物流関係訓練科の設置検討の中で、女性が活躍できる技能に関する訓練ができるかを検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 引き続き広報媒体等で女性が活躍する様子を多く掲載する。</li> <li>b トイレの洋式化を一層進める。</li> <li>c 高等技術専門校のHPリニューアル</li> <li>d 教育委員会との連携による情報発信</li> <li>e 女性の入校促進策について、引き続き検討を進めていく。</li> </ul>
	千葉県ジョブサポートセンター事業	千葉県ジョブサポートセンターにおいて、女性の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携して総合的な支援を行う。	82,549	82,548	<p>女性の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用者数 11,820人</li> <li>就職決定者数 682人</li> </ul> <p>※実績は女性と中高年齢者の総数</p>	引き続き、女性の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	母子家庭等就業・自立支援センター事業	母子家庭の母親への総合的な自立支援として、資格取得に向けた就業支援講習会の実施や就労のための無料職業紹介などを行う。	11,559	9,719	母子家庭の母等に対して、就労支援を柱とした総合的な自立支援として、資格取得に向けた就業支援講習会の実施や就業相談などを行った。 ・就業相談 延べ就業相談件数10件、就業実績0人 ・就業支援講習会の実施 ①パソコン2講座 受講者数16名 ②介護職員研修1講座 受講者数6名	母子家庭の母親に対する総合的な自立支援として、引き続き、資格取得に向けた就業支援講習会及び就業相談を実施する。
(2)若者のための職業能力開発と就労支援	高等技術専門学校での施設内訓練(普通課程)	高等技術専門学校(普通課程)において、新規学卒者等を対象とした訓練により、若年層の技能の習得や資格取得などのキャリア形成を促進する。	574,747 の一部	519,318 の一部	・県立高等技術専門学校(普通課程)において、主に新規学卒者を対象とした職業訓練を行った。 10科・定員228人・入校者数120人(入校率52.6%) ・コミュニケーション能力を向上するための講習を行った。 9科、128名	・ITリテラシー訓練の実施の他、就職先業界の変化に対応したカリキュラムを取り入れ、より充実した職業訓練を今後も実施する。 ・引き続きコミュニケーション能力を向上するための講習等を実施し、就労支援の強化を図る。
	デュアルシステム訓練	高等技術専門学校において、就労経験が乏しい若年層に対して、企業実習を組み合わせた職業訓練(デュアルシステム訓練)を行い、より実践的なキャリアアップを進める。	3,020	2,762	旭校のNC機械加工科、東金校の左官技術科において、就職経験の少ない若年訓練生を対象に、訓練期間内に企業実習を行うデュアルシステム訓練を実施した。 ※R4年度中における、入校・修了状況 ・旭校「NC機械加工科」 定員15人・入校率26.7%・就職率75% ・東金校「左官技術科」 定員8人・入校率87.5%・就職率100%	引き続き、若年層を対象としてデュアルシステム訓練を実施し、正規雇用率の向上を図る。
	ジョブカフェちば事業	「ジョブカフェちば」において、若者を対象に、就職に関する相談や各種セミナーなどの支援を行うとともに、中小企業を対象として、若年層の人材確保や定着に関するノウハウを提供する。	144,956	142,250	若年者の就業支援について、「ジョブカフェちば」を拠点として、個別相談、就職セミナーから併設のハローワークによる職業紹介に至るまでの総合的なサービスを展開するとともに、企業が若者に自社の魅力をアピールする場の提供などの中小企業の採用活動支援を併せて実施した。 ・年間利用者数 14,419名 ・就職決定者数 1,370名	引き続き、ジョブカフェちばにおいて、併設のハローワークと提携して、総合的な就労支援サービスを実施する。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば地域若者サポートステーション事業	「ちば地域若者サポートステーション」(愛称:サポステ)において、働くことに悩みを抱える若者やその家族を対象に、就職相談、就業支援プログラムなどを通じて、若者の就職をサポートする。	7,603	7,536	若年無業者等を対象として、キャリアコンサルタントや臨床心理士等による個別相談、職業的自立支援プログラム(セミナー、職業体験等)等を実施した。 ・総利用者数9,939名、新規登録者数120名、就職決定者数50名 ・キャリアカウンセラーや臨床心理士との個別相談(延べ4,849件)、職業的自立支援プログラム(延べ5,090名参加) ・ハローワーク、市役所等での出張相談(延べ89件)	引き続き、若年無業者等を対象として、キャリアコンサルタントや臨床心理士等による個別相談、職業的自立支援プログラム(セミナー、職業体験等)等を実施する。
	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援	若者が円滑に就労するためには、小学校から発達段階に応じて勤労観、職業観を育て、就業意識を醸成することが重要になることから、企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実を図り、キャリア教育を推進する。	150	80	工業系高校と企業や大学等で構成する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を通じて、大学、企業等との連携を深め、工業高校について活発な意見交換(総会2回、ワーキング・グループ1回)が行われ、工業高校の取組に対する理解を進めた。 会員数 64団体(企業20社、大学・専門学校12校、関係機関16機関、行政6課、県内工業系高校10校)	ものづくりの魅力を積極的に発信するとともに、「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」の取組等を一層充実させることにより、キャリア教育を推進する。
	キャリア支援事業		847	306	県立高等学校の33校35課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県夢チャレンジ体験スクール		864	776	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施した。 夏季休業期間も例年より短縮された中、 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 25機関30講座(うち2講座は、新型コロナウイルス感染症の影響と悪天候により中止) ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 4機関3講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(4日コース) 9機関8講座(うち1講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止) で職場体験・就業体験等を実施した。  (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和5年度千葉県夢チャレンジ体験スクールを実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 19機関25講座 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 8機関5講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日、4日コース) 9機関7講座 の募集を行い、夏季休業期間に職場体験・就業体験等を実施する。
	ちば子ども大学		279	291	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(9講座) ・ちば子ども大学連携講座(7講座)	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(6講座) ・ちば子ども大学連携講座(6講座)
	リカレント教育推進事業	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	—	—	R5年度事業実施に向けて検討・準備	・リカレント教育推進協議会の開催 ・リカレント講座の実施 ・企業調査の実施 ・学びの総合窓口開設に向けた準備
(3)中高年齢者のための職業能力開発と就労支援	離職者等再就職訓練事業における高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコースの拡充	離職者等再就職訓練事業において、概ね60歳以上の高齢者を対象とした「高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコース(令和4年度新設)」を実施しており、今後も、コースの拡充に努める。	848,980	766,095	中高年齢層の就労に繋がりやすい分野を含め、幅広く訓練を実施した。 ・R4訓練実績(繰越含む) 合計229コース、受講者3,127人 R4就職率 72.8%  高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコースを8コース実施した。	・幅広い分野での職業訓練の実施に努めるとともに、中高年齢層の特性に応じた訓練コースの設定を検討する。 ・引き続き、高齢者求職者スキルアップ・スキルチェンジコースの実施に努める。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	高等技術専門学校での施設内訓練(短期課程)	市原高等技術専門学校(ビルメンテナンス科)や我孫子高等技術専門学校(造園科)などでは、技能習得や資格取得による就職を目指して入校する中高年齢者が多く、就職率も高いことから、引き続き、高等技術専門学校での職業訓練を通して、中高年齢層の就労や新たな活躍の場を広げるキャリア転換の支援を行う。	574,747 の一部	519,318 の一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高等技術専門校の短期課程において、ビルメンテナンス科や造園科等の中高年齢者にも対応した職業訓練を実施した。 (定員138名・入校率60.1%) ※障害者向け訓練を除く。</li> <li>・コミュニケーション能力を向上するための講習を行った。 (2科、20名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITリテラシー訓練を取り入れつつ、引き続き、離職者等を対象とした職業訓練を通じて、中高年齢者の就職を積極的に支援していく。</li> <li>・引き続きコミュニケーション能力を向上するための講習等を実施し、就労支援の強化を図る。</li> </ul>
	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業		5,468	4,589	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請システムによる受講申込を開始した。</li> <li>・県立高等技術専門学校5校(障害者校を除く)で主なものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 31コース (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース (企業の要望に応じて訓練メニューを設定)</li> <li>・受講者数 196名</li> </ul>	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	千葉県ジョブサポートセンター事業	千葉県ジョブサポートセンターにおいて、中高年齢者の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携した総合的な支援を行う。	82,549	82,548	<p>中高年齢者の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数 11,820人</li> <li>・就職決定者数 682人</li> </ul> <p>※実績は女性と中高年齢者の総数</p>	引き続き、中高年齢者の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。
	リカレント教育推進事業【再掲】	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	—	—	R5年度事業実施に向けて検討・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リカレント教育推進協議会の開催</li> <li>・リカレント講座の実施</li> <li>・企業調査の実施</li> <li>・学びの総合窓口開設に向けた準備</li> </ul>

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(4)障害者のための職業能力開発と就労支援	障害者高等技術専門学校及び我孫子高等技術専門学校(事務実務科)での職業訓練	障害者が就職に必要な知識・技能を習得できるよう、障害者高等技術専門学校及び我孫子高等技術専門学校(事務実務科)において、専門の職業訓練を実施するとともに、就職支援を行う。 また、精神障害者の求職・就職が増えていることから、障害者高等技術専門学校において、精神障害者を対象としたコースを実施し、精神障害者や発達障害者の職業訓練及び就職支援を行う。	574,747 の一部	519,318 の一部	障害者高等技術専門学校及び我孫子高等技術専門学校(事務実務科)において、障害のある人を対象とした職業訓練及び就職支援を実施した。  ◎障害者校 定員80名、入校者52名(入校率65%) 就職状況:就職者25名(就職率65.8%)  ◎我孫子校 定員10名、入校者2名(入校率20%) 就職状況:就職者2名(就職率100%)	年々増加している精神障害のある人をはじめとして、様々な障害の特性に応じた職業訓練を実施する。 また、本人の希望や能力を踏まえた就職支援を行う。
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練事業	障害者の多様なニーズに対応し、身近な地域で職業訓練を受講できるよう、企業や社会福祉法人、NPO法人などに委託して職業訓練を実施する。	49,524	44,131	障害のある人が身近な地域で就職に必要な知識や技能を習得できるよう、企業や社会福祉法人等の多様な機関への委託による職業訓練を実施し、131名が受講した。  知識・技能習得訓練コース 88名 デュアル訓練コース 0名 実践能力習得訓練コース 31名 eラーニングコース 3名 特別支援学校早期訓練コース 9名 在職者訓練コース 0名	障害者高等技術専門学校を実施拠点として、障害のある人や企業のニーズを踏まえて委託機関を開拓し、多様な職業訓練を実施する。
	障害者就業支援キャリアセンター事業	千葉障害者就業支援キャリアセンターにおいて、障害者及び企業からのさまざまな相談に対応し、就労から定着までの一貫した支援を行う。	32,177	31,720	障害者及び企業への就労に関する様々な相談に対応するとともに、特例子会社設立等に関する支援を行った。また、精神障害者の雇用検討企業等を対象とした職場内サポーター養成研修を実施した。  ・相談件数:2,582件(障害者1,123、企業1,459) ・職業準備訓練人数:134人 ・企業支援件数:357社 ・職場内サポーター養成研修:6回開催41人参加	引き続き、就労に関する様々な相談に対応するとともに、精神障害者の雇用促進のための研修充実を図るなど、障害特性や企業ニーズ等に応じて、就労から定着まで丁寧な支援を行う。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	障害者雇用サポート事業	障害者に対する基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を行うとともに、法定雇用率未達成企業等に対する障害者の実習受入準備やマッチング、受入後のフォローアップなどの支援を行う。	35,981	35,981	障害者に対する基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を実施した。企業に対するセミナー等開催や実習受入に向けた社内勉強会、マッチング、受入後のフォローアップ等を実施した。  ・訓練定員60人、参加者61人、就職者22人 ・セミナー・研修会:3回開催71人参加 ・社内勉強会:114社 ・職場実習:23社30人	引き続き、障害者に対する企業での実務を想定した実践的な研修を行うとともに、企業に対する理解啓発セミナーや実習受入準備からマッチング等の雇用に向けた支援を行う。
	企業支援員(障害者雇用アドバイザー)事業	県内16か所に設置された、身近な地域で就業面と生活面の一体的な相談や支援を行う「障害者就業・生活支援センター」に企業支援員を配置し、企業のニーズや実情に応じて、障害者雇用に向けた準備から採用後の継続雇用までの総合的な支援を行う。	43,812	41,187	県内16か所の障害者就業・生活支援センターに企業支援員を各1名配置し、企業訪問により、障害者雇用の準備段階から定着までの相談や助言等の支援を行った。  ・相談件数:6,261件 ・雇用件数:228件	引き続き、県内すべての地域で、企業のニーズや状況に応じて、きめ細やかで丁寧な障害者雇用支援を行う。
	障害者就業・生活支援センター事業	また、ハローワークが行う法定雇用率未達成企業への達成指導と連携して、企業における障害者雇用に向けた支援を行う。	100,736	100,220	県内に16箇所ある障害者就業・生活支援センターに生活支援員を配置し、就労している障害者に対し、就業に伴う生活上の相談に応じ、助言や関係機関との調整を行いました。(生活支援等事業)	引き続き、生活支援を行っていきます。
	障害者雇用促進合同面接会事業	ハローワーク及び千葉市との共催で、企業と求職者の合同面接会を開催し、マッチングの場を提供するとともに、障害者の就労を支援する。	483	483	ハローワークや千葉市との共催により、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で完全予約制により実施し、働きたい障害者と雇用したい企業の面接を実施した。  ・参加企業:46社 ・求職障害者:199人 ・延べ面接人数:300人	障害者と企業のマッチング機会を提供し、障害者雇用を進めるため、ハローワーク等との共催により実施する。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	障害者就労促進 チャレンジ事業	障害者雇用の経験のない企業や法定雇用率未達成企業に対する障害者雇用企業等の見学会や短期職場実習を行うほか、障害者に対する企業見学・交流会を開催する。	3,317	3,317	企業及び障害者を対象とした企業見学や交流会、短期職場実習をハローワーク等との連携により実施した。 ・企業向け見学相談会:14回、70社参加 ・障害者向け交流会:5回、37人参加 ・短期職場実習:97社、111人受入	引き続き、障害者及び企業に対する理解促進を図り、働く・雇用するイメージを持てるよう、関係機関と連携して見学会や職場実習を実施する。
	特別支援学校就労 支援等教員研修事 業		785	768	1 特別支援学校教員キャリア教育推進研修 ①キャリア教育向上研修会実施(進路指導主事及び就労支援Co連絡協議会) ②特別支援学校教員企業実習(18名・15社で実施) 2 特別支援学校児童生徒キャリアアップ計画 ①産業教育フェア(特別支援学校ものづくりフェア) ②特別支援学校授業力向上事例集作成プロジェクト 3 特別支援教育理解推進 ①千葉県特別支援学校就労支援リーフレットの作成及び配付	1 特別支援学校教員キャリア教育推進研修 ①キャリア教育向上研修会(進路指導主事及び就労支援Co連絡協議会) ②特別支援学校教員企業実習(19名・18社で実施予定) 2 特別支援学校児童生徒キャリアアップ計画 ①産業教育フェア(特別支援学校ものづくりフェア) ②特別支援学校授業力向上事例集作成プロジェクト 3 特別支援教育理解推進 ①千葉県特別支援学校就労支援リーフレットの作成及び配付
	企業と特別支援学 校をつなぐセミナー の実施		—	—	県内6地区で「企業と特別支援学校をつなぐセミナー」を実施した。開催方法は各地区の状況に応じて実施。 1 南房総地区【7/29】27名 2 千葉地区【10/3～1/27】17名 3 東上総地区【11/1～12/16】8名 4 東葛飾地区【11/25】41名(Web) 5 北総地区【11/29】64名(Web) 6 葛南地区【2/16】111名(Web)	県内6地区で「企業と特別支援学校をつなぐセミナー」を計画。開催方法は各地区の状況に応じて検討中。 1 南房総地区【6/30】 2 千葉地区【調整中】 3 東上総地区【11/14】 4 東葛飾地区【11月下旬】 5 北総地区【11/29】 6 葛南地区【2/15】

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(5) 就職氷河期世代等のための職業能力開発と就労支援	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業	就職氷河期世代を中心とする就職・再就職希望者の安定した就労を促進するため、各種支援プログラムの実施やオーダーメイド型求人の紹介等により、一人ひとりの状況や 希望に応じた就労支援を行うとともに、同世代を受け入れる企業に対して、人材確保や職場定着に関するノウハウを提供する。	29,957	29,916	就職氷河期世代(おおむね35歳から50歳)の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会を実施した。 ・延べ利用者数 2,126人 ・就職決定者数 228人	引き続き、就職氷河期世代の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。
	働きづらさを抱える人を対象にした就労支援モデル事業	病気やひきこもり等、様々な理由で働きづらさを抱える方々を対象とする新たな就労支援体制の構築を目指して、これらの方々が、障害福祉サービスの就労支援事業所や一般企業等にて実際に働いたり、体調や心の状況に合わせて支援を受けながら仕事に向けた訓練を行う、就労支援モデル事業を実施する。	10,000	4,914	9月16日より、本事業を新たに開始し、個々の特性に応じた就労支援や受入れ先の確保に取り組んだ。 (就労体験若しくは就労受入につながった人数:延べ94名)	引き続き、様々な支援機関等が参加する協議会を活用し、支援主体相互の連携強化やノウハウの共有を図りながら、就労支援を実施する。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表  
基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) キャリア教育の推進	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援	工業高校等の生徒や教職員が小・中学校を訪問することや、小・中学生が工業高校等を訪問して学びを体験する活動などを通じて、相互の理解を深めつつ、工業高校等が小・中学校のキャリア教育を支援し、工業高校等への理解を深める取組を推進する。	1,962	711	工業科を設置する高等学校の生徒や教員が、小中学生を対象として工業科の学習内容をわかりやすく伝えるための特別授業を8回実施した。	工業高校等の生徒及び教員が小・中学校を訪問し、専門学科の学びの体験を実験や実習を通して体験してもらうことにより、専門学科高校の理解を図るとともにキャリア教育を支援し、専門学科高校への入学希望に結び付ける。
	キャリア支援事業	労働市場の実態にあった実践的なキャリア教育を各学校が展開し、生徒が主体的に進路選択を行えるよう支援するとともに、ハローワーク、ジョブカフェ等の関係機関と連携し、就職率の向上を目指すとともに、各学校の就職支援の取組を支援する。	847	306	県立高等学校の33校35課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。
	千葉県夢チャレンジ体験スクール	県内の多様な企業や大学等と連携を図り、子供たちが、様々な職種における職場見学や就業体験、科学・技術体験等の機会を通して、職業に必要な資質や能力等を学ぶとともに、将来の職業に対する夢を育む取組を推進する。	864	776	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施した。 夏季休業期間も例年より短縮された中、 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 25機関30講座(うち2講座は、新型コロナウイルス感染症の影響と悪天候により中止) ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 4機関3講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(4日コース) 9機関8講座(うち1講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)で職場体験・就業体験等を実施した。  (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和5年度千葉県夢チャレンジ体験スクールを実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース)19機関25講座 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース)8機関5講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日、4日コース)9機関7講座の募集を行い、夏季休業期間に職場体験・就業体験等を実施する。
	ちば子ども大学		279	291	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(9講座) ・ちば子ども大学連携講座(7講座)	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(6講座) ・ちば子ども大学連携講座(6講座)

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	リカレント教育推進事業【再掲】	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	—	—	R5年度事業実施に向けて検討・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リカレント教育推進協議会の開催</li> <li>・リカレント講座の実施</li> <li>・企業調査の実施</li> <li>・学びの総合窓口開設に向けた準備</li> </ul>
	未来の名工チャレンジ事業	「未来の名工チャレンジ事業(小・中学生向け:夏休みものづくり体験、高校生等向け:体験付きオープンキャンパス)」について、今後も、内容を充実させるとともに、広く事業の周知を図り、この取組を推進する。	574,747 の一部	519,318 の一部	若者のものづくりへの関心を高められるよう、県立高等技術専門学校6校において、小・中・高校生を対象にものづくりを体験する講座を実施した。 (82コース、269人)	引き続き県民だより等でのPRにより周知を行うとともに、実施内容の充実を図っていく。
	手づくりみらい教室	小学生を対象として、熟練技能者の講話や実演を見る機会を提供し、ものづくりの魅力を発信する「手づくりみらい教室」について、千葉県職業能力開発協会及び千葉県技能士会連合会と連携し、広報支援を充実させる。	—	—	小学生を対象として、ものづくりの楽しさ、素晴らしさなどを認識してもらうために、「手づくりみらい教室」を10月25日及び12月7日に開催し、技能士による講和及び実演を行った。 県内2小学校、249名の児童が、2名の技能士の講話及び実演による「手づくりみらい教室」を体験した。 児童へのアンケート調査の結果、約80%の児童が「とても良い体験(大変満足)」と回答し、「職人さんの技はすごい」「将来この職に就きたい」などの意見も多数あった。	本年度も、県内3校の小学生を対象として、熟練技能者の講話や実演を見る機会を提供し、ものづくりの魅力を発信する「手づくりみらい教室」を開催予定で、技能の大切さ・重要さについての理解を深め、技能が尊重される社会の形成を図る。

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ものづくりマスター制度	「ものづくりマスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図る。	—	—	千葉県職業能力開発協会が実施している国の受託事業において、国制度の見直しがあり事業を縮小して実施した。 ①マスターの称号制度の見直しにより上半期の新規認定が休止とされた。 ②マスター派遣実技事業が、過去派遣実績のない新規のみが実施可能とされた。 ③小中学校の児童・生徒を対象とした、「ものづくりの魅力発信講座」事業が取り止めとされたなど、事業を縮小して実施した。 ものづくりマスターの認定については9人となった。(R3年度 37人) また、マスター派遣実技事業では、高校以上の学校や、企業及び業界団体など97件、延べ1,890人日の派遣をした。(R3年度 135件、延べ3,023人日)	○ものづくりマスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ○ものづくりマスターの活用 ものづくりマスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ○実技指導は、最適なマスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ○若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するために、講座・実演・体験教室を開催する。
(2) 工業分野等の未来を担う若者の確保・育成	技能五輪大会等技能競技大会の参加支援	千葉県職業能力開発協会等と連携し、技能五輪等の全国大会への参加を促進するとともに、技能五輪全国大会出場者の技能向上に必要な訓練に要する経費を助成することで、技能尊重気運の醸成及び若年技能労働者の技能の向上を図る。	—	—	技能五輪全国大会出場への意欲を高めるための取り組みとして、技能五輪激励会を行った。	令和5年度も技能五輪激励会を行う予定。
	技能五輪選手育成強化事業の実施		1,000	474	令和4年度は6団体に47万4千円を助成した。(参考)R3:1団体に9万1千円助成	令和5年度は1企業当たり10万円を上限とし、10団体に交付する計画である。

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	技能検定若年者減額措置の実施	若年技能者の受検促進のため、高校生等に対して、受検料の減額措置を実施する。	5,378	5,148	若年者減額措置については、平成29年度後期技能検定より、35歳未満の2級・3級実技試験手数料を9,000円分減額していたが、令和4年度より、2・3級受検者のうち、25歳未満の在職者(雇用保険被保険者)のみ、国費で減免となり、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減額の対象からはずれた。このことから、対象から外れた県内在学または在住の在校生の実技試験手数料を、県費で減免することとした。 この結果、25歳未満の受検申請者数を令和3年度と令和4年度と比較してみると、令和3年度の824人に対し、令和4年度は690人で、この県費の減免によって130人程度の減少でくい止めることができたと考えている。	引き続き、国費で減免が受けられなくなった25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費で行う。併せて、国に対して減免対象の拡大を要望していく。
	ものづくりマイスター制度【再掲】	「ものづくりマイスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図る。	—	—	千葉県職業能力開発協会が実施している国の受託事業において、国制度の見直しがあり事業を縮小して実施した。 ①マイスターの称号制度の見直しにより上半期の新規認定が休止とされた。 ②マイスター派遣実技事業が、過去派遣実績のない新規のみが実施可能とされた。 ③小中学校の児童・生徒を対象とした、「ものづくりの魅力発信講座」事業が取り止めとされたなど、事業を縮小して実施した。 ものづくりマイスターの認定については9人となった。(R3年度 37人) また、マイスター派遣実技事業では、高校以上の学校や、企業及び業界団体など97件、延べ1,890人日の派遣をした。(R3年度 135件、延べ3,023人日)	○ものづくりマイスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ○ものづくりマイスターの活用 ものづくりマイスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ○実技指導は、最適なマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ○若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するために、講座・実演・体験教室を開催する。

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県の卓越した技能者の表彰や千葉県職業能力開発促進大会の実施	千葉県職業能力開発促進大会において、長年にわたって卓越した技能を發揮した方や職業訓練等に功績のあった方を表彰・紹介し、その活躍を称えとともに、積極的な広報を通じ、技能尊重気運の醸成を図る。	346	256	第53回千葉県職業能力開発促進大会を実施し、千葉県の卓越した技能者(被表彰者10名)、千葉県知事感謝状(被表彰者2団体7名)等を表彰。	・毎年、千葉県職業能力開発促進大会を実施する。 ・千葉県の卓越した技能者表彰等を行う。
(3) 技能検定制度の普及、実務体制の強化	技能検定の実施、普及促進	技能の習得レベルを客観的に評価する国家制度である技能検定について、実施機関である千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図るとともに、円滑に技能検定を実施できるよう、体制整備等に努める。 また、若年技能者の受検促進のため、高校生等に対して、受検料の減額措置を実施する。	95,453	95,453	・国が定める実施計画に基づき本県の実施計画を策定及び実施 令和4年度前期 52職種82作業 令和4年度後期 75職種63作業  ・若年技能者の確保を図るため、25歳未満の若年者について、実技試験手数料の減額を実施  ・外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。	・引き続き、国費で減免が受けられなくなった、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費で行う。  ・併せて、国に対して減免対象の拡大を要望していく。  ・外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。
	技能検定若年者減額措置の実施【再掲】		5,378	5,148	若年者減額措置については、平成29年度後期技能検定より、35歳未満の2級・3級実技試験手数料を9,000円分減額していたが、令和4年度より、2・3級受検者のうち、25歳未満の在職者(雇用保険被保険者)のみ、国費で減免となり、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減額の対象からはずれた。このことから、対象から外れた県内在学または在住の在校生の実技試験手数料を、県費で減免することとした。 この結果、25歳未満の受検申請者数を令和3年度と令和4年度と比較してみると、令和3年度の824人に対し、令和4年度は690人で、この県費の減免によって130人程度の減少でくい止めることができたと考えている。	引き続き、国費で減免が受けられなくなった25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費で行う。 併せて、国に対して減免対象の拡大を国に要望していく。

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	技能検定の実施、普及促進【再掲】	外国人技能実習制度に基づく技能検定については、令和3年以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から行われた外国人の入国制限等により受検者が減少しているが、入国制限の緩和により、今後は増加が見込まれる。増加も踏まえて円滑に技能検定を実施できるよう、千葉県職業能力開発協会と連携し、実施体制等を整備する。	95,453	95,453	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が定める実施計画に基づき本県の実施計画を策定及び実施 令和4年度前期 52職種82作業 令和4年度後期 75職種63作業</li> <li>若年技能者の確保を図るため、25歳未満の若年者について、実技試験手数料の減額を実施</li> <li>外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、国費で減免が受けられなくなった、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費で行う。</li> <li>併せて、国に対して減免対象の拡大を要望していく。</li> <li>外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。</li> </ul>
	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業(技能検定対策コースの実施)【再掲】	高等技術専門校が実施する在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業において、技能検定受検者を対象とした対策コースを実施する。	5,468 の一部	4,589 の一部	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍空調調和機器施工受検対策等を実施し、技能検定受検者に対して支援を行った。 1コース、4人 技能検定 冷凍空調機器施工受検対策(実技)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。</li> <li>企業ニーズを踏まえたコース設定を行う。</li> <li>技能検定対策コースの周知を図り、検定受検者の支援を行う。</li> </ul>
(4) 技能継承の促進	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業【再掲】	中小企業の技能継承に必要な指導者不足やスキルアップのための機会不足を補うため、高等技術専門校で在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)を実施し、技能向上や資格取得の促進を通じた技能継承への支援を行う。	5,468	4,589	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請システムによる受講申込を開始した。</li> <li>県立高等技術専門校5校(障害者校を除く)で主なものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 31コース (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース (企業の要望に応じて訓練メニューを設定)</li> <li>受講者数 196名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。</li> <li>その際には企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。</li> </ul>

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ものづくりマスター制度【再掲】	「ものづくりマスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図り、中小企業における技能継承を支援する。	—	—	千葉県職業能力開発協会で実施している国の受託事業において、国制度の見直しがあり事業を縮小して実施した。 ①マスターの称号制度の見直しにより上半期の新規認定が休止とされた。 ②マスター派遣実技事業が、過去派遣実績のない新規のみが実施可能とされた。 ③小中学校の児童・生徒を対象とした、「ものづくりの魅力発信講座」事業が取り止めとされたなど、事業を縮小して実施した。 ものづくりマスターの認定については9人となった。(R3年度 37人) また、マスター派遣実技事業では、高校以上の学校や、企業及び業界団体など97件、延べ1,890人日の派遣をした。(R3年度 135件、延べ3,023人日)	○ものづくりマスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ○ものづくりマスターの活用 ものづくりマスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ○実技指導は、最適なマスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ○若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するために、講座・実演・体験教室を開催する。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) 高等技術 専門校の再編・ 整備	(仮称)IoTシステム 課の新設【再掲】	IoT等について学ぶ「(仮称)IoTシ ステム科」を船橋高等技術専門校 に設置する(その後、我孫子高等技 術専門校に移転(施設整備後))。	—	—	他県及び県内ポリテクの訓練実施状況を参考にしつ つ、船橋校現有の人的・物理的リソースを活用して、 令和7年4月に速やかに開講できることを目的とし て、普通課程(2年制)・定員10名(1学年あたり)とし た。	令和7年4月の開講に向けて、カリキュ ラムの策定及び関連規則の改正、電気 工事等の施設改修、備品の予算要求な ど準備を進める。
	物流関係科の設置 の検討【再掲】	圏央道の全線開通や成田空港の 拡張等による物流需要の高まりを 受け、物流センター等で必要とされ る知識・技能を短期間で習得する 「物流関係科」の設置について検討 する。	—	—	—	R5年度において、「物流関係科」の開 設検討に当たって、物流センター等の実 態や人材ニーズ、民間における訓練実 施状況等を把握する必要があることか ら、専門的な調査能力を持つ企業に調 査を委託することとした。
	高等技術専門校の 訓練科の移転・統 合・定員の見直し等	訓練科ごとに、入校率、訓練内容、 求人ニーズ、地域性等を総合的に 勘案して、移転・統合・定員の見直 し等を行い、入校率の向上を図る。	—	—	計画策定にあたり、下記見直しを行った。 ・東金校の空間デザイン科を、船橋校に移転しディス プレイ科に科名変更 ・我孫子校及び旭校のNC機械加工科を船橋校の機 械技術科に統合 ・市原校の溶接非破壊検査科(定員20名:1年間)を 非破壊検査科に科名変更し、定員10名、訓練期間を 6か月(年2回)に変更 ・船橋校の金属加工科(定員10名、6か月)を、(定員 12名、1年間)に変更 我孫子校の造園科(短期課程)(定員11名、6か月) を、(定員を10名)に変更	見直し案に基づき、各種施設整備を推 進していく。
	高等技術専門校の 施設等の整備	訓練科の新設・移転や老朽化への 対応として、実習棟等の整備を計 画的に進める。 また、訓練設備についても、新しい 設備を順次導入し、技術水準の向 上を図る。	1,453,648 の一部	1,377,775 の一部	・市原高等技術専門校については、総合実習棟の建 替え工事を進めている。 ・訓練科の新設・移転や老朽化に対応するため、施 設整備等についての方向性を検討した。 ・訓練設備について、新しい設備等を順次導入した。	引き続き、訓練科の新設・移転や老朽 化に対応するため、計画的に施設整備 や設備の更新等を推進していく。
(2) ものづくり の魅力発信の 強化	「高等技術専門校」 の校名変更	入校促進を図るため、「高等技術専 門校」という正式名称を、これから 入校する若者にとって、より覚えや すく親しみやすい「テクノスクール」 に変更する(県議会で条例改正の 議決後)。	—	—	—	令和5年6月定例県議会において、校 名変更に伴う条例改正案を上程し、議 決された。(令和6年4月1日施行)

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ホームページのリニューアル	入校促進に向けて、高等技術専門校の高い就職率等の長所を前面に打ち出すとともに、入校検討中の方に対し、訓練内容等の情報が効果的に伝わる内容に見直すなど、ホームページを全面的にリニューアルする。	—	—	—	令和5年度内に高等技術専門校のホームページのリニューアルを行う。
	ものづくりの魅力等を発信する工業高校との共同のパンフレットの作成	高等技術専門校や工業高校の入校対象者は、同じ中学生や高校生であることから、連携して、より効果的にものづくりの魅力や工業系人材育成機関の長所等を中学生に周知できるよう、共同のパンフレットを作成する。	—	—	委託業者選定に係る企画提案の公募を開始した。 (公募期間: R5.3.27~R5.4.20)	令和5年度内に高等技術専門校及び工業系高等学校の魅力発信のための共同パンフレットを作成する。
(3) 教育委員会等との連携強化(教育委員会・ポリテク・民間企業・千葉労働局等)	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援【再掲】	工業高校等の生徒や教職員が小・中学校を訪問することや、小・中学生が工業高校等を訪問して学びを体験する活動などを通じて、相互の理解を深めつつ、工業高校等が小・中学校のキャリア教育を支援し、工業高校等への理解を深める取組を推進する。	1,962	711	工業科を設置する高等学校の生徒や教員が、小中学生を対象として工業科の学習内容をわかりやすく伝えるための特別授業を8回実施した。	工業高校等の生徒及び教員が小・中学校を訪問し、専門学科の学びの体験を実験や実習を通して体験してもらうことにより、専門学科高校の理解を図るとともにキャリア教育を支援し、専門学科高校への入学希望に結び付ける。
	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援【再掲】	若者が円滑に就労するためには、小学校から発達段階に応じて勤労観、職業観を育て、就業意識を醸成することが重要になることから、企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実を図り、キャリア教育を推進する。	150	80	工業系高校と企業や大学等で構成する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を通じて、大学、企業等との連携を深め、工業高校について活発な意見交換(総会2回、ワーキング・グループ1回)が行われ、工業高校の取組に対する理解を進めた。 会員数 64団体(企業20社、大学・専門学校12校、関係機関16機関、行政6課、県内工業系高校10校)	ものづくりの魅力を積極的に発信するとともに、「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」の取組等を一層充実させることにより、キャリア教育を推進する。
	キャリア支援事業【再掲】		847	306	県立高等学校の33校35課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県夢チャレンジ体験スクール【再掲】		864	776	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施した。夏季休業期間も例年より短縮された中、 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 25機関30講座(うち2講座は、新型コロナウイルス感染症の影響と悪天候により中止) ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 4機関3講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(4日コース) 9機関8講座(うち1講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)で職場体験・就業体験等を実施した。  (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和5年度千葉県夢チャレンジ体験スクールを実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース)19機関25講座 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース)8機関5講座 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日、4日コース)9機関7講座の募集を行い、夏季休業期間に職場体験・就業体験等を実施する。
	ちば子ども大学【再掲】		279	291	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(9講座) ・ちば子ども大学連携講座(7講座)	・協力機関実施講座(6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(6講座) ・ちば子ども大学連携講座(6講座)
	未来の名工チャレンジ事業【再掲】	「未来の名工チャレンジ事業(小・中学生向け:夏休みものづくり体験、高校生等向け:体験付きオープンキャンパス)」について、今後も、内容を充実させるとともに、広く事業の周知を図り、この取組を推進する。	574,747 の一部	519,318 の一部	若者のものづくりへの関心を高められるよう、県立高等技術専門学校6校において、小・中・高校生を対象にものづくりを体験できる取組を実施した。 (82コース、269人)	引き続き県民だより等でのPRにより周知を行うとともに、実施内容の充実を図っていく。
	ものづくりの魅力等を発信する工業高校との共同のパンフレットの作成【再掲】	高等技術専門学校や工業高校の入校対象者は、同じ中学生や高校生であることから、連携して、より効果的にものづくりの魅力や工業系人材育成機関の長所等を中学生に周知できるよう、共同のパンフレットを作成する。	—	—	委託業者選定に係る企画提案の公募を開始した。 (公募期間: R5.3.27~R5.4.20)	令和5年度内に高等技術専門学校及び工業系高等学校の魅力発信のための共同パンフレットを作成する。
	機構千葉支部(ポリテクカレッジ等)と連携した取組の検討	高等技術専門学校とポリテクカレッジ等が連携し、若者等にもものづくりの魅力等を発信する取組について検討する。	—	—	ポリテクカレッジ担当と連絡をとり、連携取組について相談した。	1~3月にポリテクカレッジで実施予定の地域社会との交流を深めるイベント「ポリテックビジョン」への、高等技術専門学校訓練生製作品の展示する。

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば企業人スキルアップセミナー【再掲】	スキルアップセミナーには、中小企業の希望に応じて訓練内容や実施日程を設定するオーダー型訓練があり、この訓練の更なる周知を図るとともに、相談にきめ細かく対応し、中小企業における人材育成を支援する。 また、中小企業の職場見学等の機会の拡充など、地域の中小企業と工業系人材育成機関の連携を深める取組について検討する。	5,468	4,589	・電子申請システムによる受講申込を開始した。 ・県立高等技術専門校5校(障害者校を除く)で主にもものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 31コース (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 196名	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	地域の中小企業等と工業系人材育成機関の連携を深める取組の検討		—	—	・新技術講習や就業意識啓発をテーマにした企業が校で実施する出前授業を16回実施。 ・企業を訪問して、ビジネスマナーや業界理解について学ぶ校外授業を4回実施。 ・ものづくり企業連携事業としてバスによる見学を延べ10社実施。	引き続き、同様の取り組みを実施することで業界理解を深め、就業前のミスマッチを解消する。
	工業高校・農業高校企業等連携推進事業	今後の地域産業を支える人材の育成を図るため、工業高校及び農業高校にコーディネーターを配置し、企業・関係機関等・大学・高校等との連携を促進する。	5,566	5,011	「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」の事務局(千葉工業高校)及び農業関係高校人材育成組織「アグリサポーターズちば」の事務局(茂原樟陽高校)に、豊富な知識と経験を有するコーディネーターをそれぞれ1名配置し、外部機関との連携を促進した	「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」、農業関係高校人材育成組織「アグリサポーターズちば」の取組等を一層充実させることにより、実践的な学びの場をより多く創出していく。
	在職者を対象とする職業訓練及び事業主等との連携・支援の実施	機構千葉支部と連携し、機構千葉支部において実施している中小企業等の生産性向上等に向けた人材育成支援や中小企業の在職者等を対象とした職業訓練について、一層の周知を図る。	—	—	千葉県産業人材課と連携し、千葉県金型工業会を対象とした在職者訓練を実施し、機構千葉支部で実施する他の生産性や技能・技術の向上のための訓練を周知した。	令和5年度以降も、千葉県金型工業会を対象とした在職者訓練を継続して実施する予定であり、その他の事業主団体に対しても生産性や技能・技術の向上のための訓練を周知し実施する予定である。
	中小企業等技術力高度化支援研修事業【再掲】	県内中小企業等を対象に、技術力高度化やデジタル人材育成のための研修のほか、千葉県商工会議所連合会と連携して、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援等を行う。	938	511	・金属3Dプリンタの活用方法に関する座学と実習 ・CNC三次元測定機の活用方法に関する座学と実習 ・卓上型走査電子顕微鏡の基本操作に関する座学と実習 ・蛍光X線分析装置を用いた分析手法に関する座学と実習  上記の4研修を実施し延べ86名の技術者のレベルアップを支援した。	産業支援技術研究所において、中小企業等の技術力高度化のために必要となる技術・技能について、座学による理論から実際に機器を使用してのノウハウ習得などに関する研修を行う。

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	中小企業デジタル技術活用支援事業【再掲】		24,000	23,496	デジタル技術の活用により、中小企業が生産性の向上や事業の高付加価値化を図れるよう、セミナーや体験型IoT・AI実習講座の開催、実務者向けのデジタル技術活用実践研修を実施した。	引き続きセミナー、体験型講座、実践研修を実施する。
	中小企業人材採用・魅力発信サポート事業【再掲】		20,000	20,000	企業の人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行った。 ・総参加企業550社、総参加教育機関87校、総参加学生1,966人 ・企業対象セミナー参加企業 延べ230社 ・企業と教育機関の交流イベントの参加企業延べ200社、教育機関延べ79校	引き続き、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行う。
	チャレンジ企業支援センター事業	公益財団法人千葉県産業振興センターと連携し、経営相談に対するワンストップ窓口であるチャレンジ企業支援センターにおいて中小企業を支援する。	430,479	378,073	中小企業に対する支援として、窓口相談を4,262件実施した。	専門家及び職員による指導、助言を行う窓口相談を実施する。
	千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)	産・官・学で構成する「千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)」の活動を通して、建設業のイメージアップや人材の確保・育成に向けた事業を実施する。	5,831の一部	2,892の一部	・県内小・中学校において、「建設業」についての出張授業を実施した。(小学校4校、中学校6校) ・県立高校等において、各建設業団体が出前講座を実施した。(高校5校、短大1校、技専1校)	・県内小・中学校において、「建設業」についての出張授業を実施する。(小学校6校、中学校13校) ・県立高校等において、各建設業団体が出前講座を実施する。(工業系高校に要望確認中)
	千葉県地域職業能力開発促進協議会の設置、「千葉県職業訓練実施計画(総合計画)」の策定	県、千葉労働局、機構千葉支部は、地域のニーズを踏まえた職業訓練の機会を十分に確保するため、平成28年度から「千葉県職業訓練実施計画(総合計画)」を策定しており、今後も、連携して総合的な職業能力開発を推進する。	—	—	地域訓練職業能力開発促進協議会において、公共職業訓練の実施計画を策定し、公共職業訓練をそれぞれ以下のとおり設定した。 ①離職者対象の施設内訓練20科1,064人(うち県8科178人) ②委託訓練184コース3,881人、在職者対象834コース11,810人(うち県42コース350人) ③学卒者対象10科208人 ④求職者支援訓練は基礎コース858人、実践コース2,000人	今後も関係機関と連携し、情報共有等を図り、計画に沿った事業を展開する。また、現状等を踏まえ、次年度の計画を策定する。

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R4 予算・決算関係		R4年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	機構千葉支部(ポリテクカレッジ等)と連携した取組の検討【再掲】	高等技術専門校とポリテクカレッジ等が連携し、若者等にもものづくりの魅力等を発信する取組について検討する。	—	—	ポリテクカレッジ担当と連絡をとり、連携取組について相談した。	1～3月にポリテクカレッジで実施予定の地域社会との交流を深めるイベント「ポリテックビジョン」への、高等技術専門校訓練生製作品の展示する。
	千葉県ジョブサポートセンター事業【再掲】	千葉県ジョブサポートセンターやジョブカフェちば等において、離職者等の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携して総合的な支援を行う。	82,549	82,548	女性や中高年齢者の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施した。 ・延べ利用者数 11,820人 ・就職決定者数 682人	引き続き、女性や中高年齢者の再就職支援として、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。
	ジョブカフェちば事業【再掲】		144,956	142,250	若年者の就業支援について、「ジョブカフェちば」を拠点として、個別相談、就職セミナーから併設のハローワークによる職業紹介に至るまでの総合的なサービスを展開するとともに、企業が若者に自社の魅力をアピールする場の提供などの中小企業の採用活動支援を併せて実施した。 ・年間利用者数 14,419名 ・就職決定者数 1,370名	引き続き、ジョブカフェちばにおいて、併設のハローワークと提携して、総合的な就労支援サービスを実施する。
	千葉県職業能力開発協会との連携	千葉県職業能力開発協会が実施する技能検定、技能祭、各種講習会等に対して支援を行うとともに、円滑な運営ができるよう一体となって取り組む。	95,683	95,453	技能検定業務を実施している千葉県職業能力開発協会に対し、国の算定基準に基づき県の算定基準を作成し、助成を行うとともに、技能祭の経費の一部について補助を行った。 ホームページ、パンフレット等に加え、県民だより、新聞などを活用し、広報活動を行った。	円滑な運営のため、財政支援を行うとともに、外国人技能実習制度の改正に伴う受検者の増加に対応するため、千葉県職業能力開発協会との連携を強化する。 引き続き広報活動行い、若年技能者への効果的な技能の継承や後継者の育成を支援していく。